

実務研修の後期で学習する事例について

後期の講義・演習では下記のA～Gについて学習しますので、受入事業所の可能な範囲内で複数の事例を見学できると効果的です。

事例については下記の「テーマ及びキーワード」を参考にしてください。

科目番号	科目	目的	テーマ及びキーワード ※表内のテーマ、キーワードに限定されるものではなく一部の例として参考にしてください
A	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	脳血管疾患に関する身体機能の制約や高次脳機能障害が生じやすい疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	脳梗塞や脳出血、くも膜下出血、硬膜下出血、頭部外傷など 片麻痺、摂食嚥下障害、言語障害（失語症・構音障害）、高次脳機能障害、血管性認知症など
B	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	認知症の特徴や療養上の留意点、多職種との情報共有において必要な視点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症 MCI.（軽度認知障害）、若年性認知症など
C	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、骨粗鬆症、変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ、後縦靭帯骨化症、脊椎損傷、廃用症候群、フレイル、脊柱管狭窄症など
D	心疾患のある方のケアマネジメント	心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	狭心症、心臓弁膜症、虚血性心疾患、不整脈、急性・慢性心不全などの心疾患
E	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点等を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	誤嚥性肺炎になったケース・もしくは、可能性の高いケース。誤嚥性肺炎の予防が必要なケース（口腔機能が低下・嚥下機能が低下・むせが有る、口腔ケアの必要性、食事に時間の介助が必要なケースなど）
F	看取りに関する事例	看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	終末期ケア、過去に看取りを行ったケース、訪問看護と連携したケース終末期においてACPを行ったケース
G	地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点を理解する。	家族への支援、難病、高齢者虐待、障害者、生活困窮者及び疑い、仕事と介護の両立、介護離職、ヤングケアラー、重層的支援体制整備事業、社会資源の開発の視点、市町村のサービス、企業のケアに関するサービス等、地域住民の自主的な活動の把握、地域ケア会議への参加など。